

「おかえりなさい」 街がそう言った。

「子育ては環境のいいところでしたいわ、
たとえばあなたが育った街みたいな」。

妻がそう話してくれた時、ぼくはそれもありだねと
言ったのだけど、本当はとても嬉しかったんだ。

就職しここを出て、スウェーデンヒルズに帰るたびに、
ぼくはこの街に育てられたということを実感していた。

車窓に広がるどの道もどの森も、

魔法のようにそれは鮮やかに思い出の扉を開き、

心のひだをここでこんなに蓄えていたんだと思う。

そして今日。きっとこの街はぼくらの新しい命まで

おかえりなさいと迎え入れてくれた。

リアシートの妻を気づかひながら

真新しい車を実家に停めて、ぼくは言った。

「ただいま、お父さん、お母さん。

いいニュースがあるんだ」。

日本の
スウェーデン
ライフ

On SwedenHills
with
Volvo

スウェーデンヒルズにて撮影 (撮影車両: Volvo XC90)

日本にもこんな暮らしがあります。
札幌から車で約40分。スウェーデンハウスの街。



スウェーデンヒルズ
Sweden Hills

